

■ 主な検討の視点

臨海地域全体の水と緑のネットワークの目標像を明確にしたうえで、その実現に向け海上公園が担うべき役割や各公園のあるべき姿を整理し、あわせて、運河や浅場など、公園と一体となった周辺環境の整備誘導の取組等についても体系化していく。

◆都市構造の変化

周辺のまちとの一体化、臨海地域におけるネットワークの構築等



◆多様化するニーズ

求められる公園利用スタイルへの柔軟な対応（水浴・サイクリング等）



◆観光・まちの賑わい等への寄与

MICE・国際観光拠点の賑わい創出に貢献



◆歴史文化の継承

お台場等歴史資源の活用、海苔づくり体験 ほか



◆環境負荷低減・生物多様性の保全

剪定枝葉の活用等の資源循環システムの構築、固有種の生息環境の確保



◆協働

環境学習等への市民参加、企業CSR活動等との連携



◆防災

津波等からの利用者の安全確保、発災時の救出救助活動拠点等としての機能発揮



◆オリンピック・パラリンピック

一部建ぺい率等の緩和や、大会後も見据えた計画の立案



海上公園周辺も含め総合的に施策展開するため、道しるべとなる体系的・戦略的なビジョンを策定

■ 検討の流れ（案）

